

実務経験のある教員による授業科目一覧表

理工学部
(旧工学部)

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
機械工学科	1	制御工学(1)	杉町 敏之	2	企業において、システム開発に携わった経験をもとに、講義では実用上の課題の紹介などを行っている。
	2	機械力学(1)	横 徹雄	2	自動車製造企業の研究所や先行開発本部で自動車の騒音振動、衝突安全性能の向上を担当した実務経験をもとに、講義では自動車などの構造を具体的に示しながら、説明を行っている。
	3	基礎設計製図	伊東 明美	2	自動車製造企業でエンジン開発に携わった経験をもとに、講義(実習)では、実際の開発現場における図面に対する要求を把握した上で、重要なポイントを強調した、緩急をつけた指導を行っている。
	4	技術日本語表現技法	杉町 敏之	2	企業において、システム開発に携わった経験をもとに、講義では実用上の課題の紹介などを行っている。
	5	フーリエ解析学	櫻井 俊彰	2	自動車製造企業で実車の走行試験の結果から振動入力に対する強度耐久解析に従事していた経験に基づき、講義では実用の際に予備知識として必要な理論と実用の際に重要な関係について解説している。
	6	機械力学(2)	横 徹雄	2	自動車製造企業の研究所や先行開発本部で自動車の騒音振動、衝突安全性能の向上を担当した実務経験をもとに、講義では自動車などの構造を具体的に示しながら、説明を行っている。
	7	工業力学(2)	櫻井 俊彰	2	自動車製造企業で、車両の走行試験の結果からシミュレーション評価を行ってきた経験に基づき、講義では実現象を抽象的な力学モデル化において注意すべき点を解説している。
	8	工業力学(2)	及川 昌訓	2	企業において、内燃機関の研究開発に携わった経験をもとに、講義では内燃機関の部品も用いて動力学の基本を説明している。
	9	制御工学(2)	杉町 敏之	2	企業において、システム開発に携わった経験をもとに、講義では実用上の課題の紹介などを行っている。
	10	創成設計演習	櫻井 俊彰 西部 光一	2	自動車製造企業やプラント製造企業での設計業務に従事した経験に基づき、講義(演習)では、製造業における設計業務を紹介している。
	11	創成設計演習	伊東 明美	2	自動車製造企業でエンジン開発に携わった経験をもとに、講義(実習)では、実際の開発現場における図面に対する要求を把握した上で、重要なポイントを強調した、緩急をつけた指導を行っている。
				22	

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
機械システム工学科	1	材料力学(1)	宮坂 明宏	2	民間の研究や特殊法人において衛星の設計開発に携わった経験をもとに、講義では、材料力学の実際への応用例の提示を行っている。
	2	材料力学(1)	今福 宗行	2	民間企業(製造業)における研究開発に従事した経験やその知識を講義で紹介している。
	3	材料力学(3)	秋田 貢一	2	国立研究所における材料強度研究および研究グループのマネジメントを行っていた経験に基づき、実構造物の強度評価や研究開発の経験を、本科目の目標設定などに活かしている。
	4	流れ学(1)	白鳥 英	2	メーカーの研究所にて1、実験・数値解析技術の開発に従事した経験をもとに、モノづくりの実情を、講義の事例紹介に活用している。
	5	振動工学	宮坂 明宏	2	民間の研究や特殊法人において衛星の設計開発に携わった経験をもとに、講義では、実際への応用例の提示を行っている。
	6	創成設計演習	秋田 貢一	2	国立研究所における材料強度研究および研究グループのマネジメントを行っていた経験に基づき、実構造物の強度評価や研究開発の経験を、本科目の目標設定などに活かしている。
	7	創成設計演習	宮坂 明宏	2	民間の研究や特殊法人において衛星の設計開発に携わった経験をもとに、講義(演習)では設計の進め方と考え方を解説している。
	8	工業力学(1)	秋田 貢一	2	国立研究所における材料強度研究および研究グループのマネジメントを行っていた経験に基づき、実構造物の強度評価や研究開発の経験を、本科目の目標設定などに活かしている。
	9	材料力学(2)	今福 宗行	2	民間企業(製造業)における研究開発に従事した経験やその知識を講義で紹介している。
	10	工業力学(1)	宮坂 明宏	2	民間の研究や特殊法人において衛星の設計開発に携わった経験をもとに、実設計における例を挙げながら講義を行っている。
	11	機械材料	今福 宗行	2	民間企業(製造業)における研究開発に従事した経験やその知識を講義で紹介している。
	12	宇宙システム学	宮坂 明宏	2	民間の研究や特殊法人において衛星の設計開発に携わった経験をもとに、講義では実際の衛星の設計法と開発法を解説している。
	13	機械システム設計演習(2)	宮坂 明宏	2	民間の研究や特殊法人において衛星の設計開発に携わった経験をもとに、実務について触れながら講義(演習)を行っている。
				26	

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
電気電子通信工学科	1	通信工学(情報通信工学科開講の再・通信工学と同一シラバス)	佐和橋 衛	2	民間企業において、移動通信方式(3G, 4G方式)の研究開発、無線インタフェースの標準化に従事していた経験に基づき、講義では学習する技術の実用システムへの適用性、有効性を説明している。
	2	システム解析	中島 達人	2	電力会社において電力系統制御技術の研究・開発に従事した経験に基づき、講義では得られた実務知識に基づく説明を行っている。
	3	電気回路(2)	鈴木 憲吏	2	プレス機械メーカーにおいての、モータドライブ用大出力インバータの回路設計、板金加工、制御アルゴリズムの開発業務に関する実務経験に基づき、講義ではデバイスの選定、回路定数の同定などを経験をもとに解説し、より実践的な手法を解説している。
	4	デジタル通信方式(情報通信工学科開講の再・デジタル通信方式と同一シラバス)	佐和橋 衛	2	民間企業において、移動通信方式(3G, 4G方式)の研究開発、無線インタフェースの標準化に従事していた経験に基づき、講義では学習する技術の実用システムへの適用性、有効性を説明している。
	5	電力エネルギー基礎	中島 達人	2	電力会社において電力系統制御技術の研究・開発に従事した経験に基づき、講義では得られた実務知識に基づく説明を行っている。
	6	システム制御工学	中島 達人	2	電力会社において電力系統制御技術の研究・開発に従事した経験に基づき、講義では得られた実務知識に基づく説明を行っている。
	7	電子回路	荒井 高志	2	民間の研究等所において、自動車の電子システム開発：エンジン、トランスミッションの制御ECUの開発に従事した経験に基づき、講義では現場で必要とされる知識、スキルを解説している。
	8	技術者倫理	中島 達人	2	電力会社の研究所で電力系統技術関連の研究・開発・実用化に従事した経験に基づき、講義では実務経験に基づく補足説明を行っている。
	9	符号理論	佐和橋 衛	2	民間企業において、移動通信方式(3G, 4G方式)の研究開発、無線インタフェースの標準化に従事していた経験に基づき、講義では学習する技術の実用システムへの適用性、有効性を説明している。
	10	応用電子回路	柴田 随道	2	企業の研究所での集積回路の設計開発の実務経験に基づき、適宜、実務経験を盛り込んだ講義を行っている。
	11	パワーエレクトロニクス	鈴木 憲吏	2	プレス機械メーカーにおいての、モータドライブ用大出力インバータの回路設計、板金加工、制御アルゴリズムの開発業務に関する実務経験に基づき、講義ではデバイスの選定、回路定数の同定などを経験をもとに解説し、より実践的な手法を解説している。
	12	電子計測	松浦 達治	2	総合電機メーカーの中央研究所や同事業部での実務経験に基づき、電子計測システムやA/D, D/A変換器の製品開発を通じて培った経験を、講義で学生に伝えている。
				24	

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
医用工学科	1	アクチュエータ機械工学	和多田 雅哉	2	民間企業や研究所において、工作機械の研究・開発、主にモータ・アクチュエータの駆動・制御の開発や試作機の開発、試運転業務にも従事し、ユーザー対応の業務にも携わった実務経験に基づき、講義ではアクチュエータを使用した機器の設計・製作の過程を含め、設計・製作技術の概念、創造性の開発、実経験（実作業）による機構、工作技術、メカトロニクスの基本理解のために解説を行っている。
	2	医用機械工学概論	和多田 雅哉	2	民間企業や研究所において、工作機械の研究・開発、主にモータ・アクチュエータの駆動・制御の開発や試作機の開発、試運転業務にも従事し、ユーザー対応の業務にも携わった実務経験に基づき、講義ではアクチュエータを使用した機器の設計・製作の過程を含め、設計・製作技術の概念、創造性の開発、実経験（実作業）による機構、工作技術、メカトロニクスの基本理解のために解説を行っている。
	3	福祉ロボット工学及び実習	和多田 雅哉	3	民間企業や研究所において、工作機械の研究・開発、主にモータ・アクチュエータの駆動・制御の開発や試作機の開発、試運転業務にも従事し、ユーザー対応の業務にも携わった実務経験に基づき、講義（実習）ではアクチュエータを使用した機器の設計・製作の過程を含め、設計・製作技術の概念、創造性の開発、実経験（実作業）による機構、工作技術、メカトロニクスの基本理解のために解説を行っている。
	4	医用機械工学実習(1)	和多田 雅哉	2	民間企業や研究所において、工作機械の研究・開発、主にモータ・アクチュエータの駆動・制御の開発や試作機の開発、試運転業務にも従事し、ユーザー対応の業務にも携わった実務経験に基づき、講義（実習）ではアクチュエータを使用した機器の設計・製作の過程を含め、設計・製作技術の概念、創造性の開発、実経験（実作業）による機構、工作技術、メカトロニクスの基本理解のために解説を行っている。
	5	医用機械工学実習(2)	和多田 雅哉	2	民間企業や研究所において、工作機械の研究・開発、主にモータ・アクチュエータの駆動・制御の開発や試作機の開発、試運転業務にも従事し、ユーザー対応の業務にも携わった実務経験に基づき、講義（実習）ではアクチュエータを使用した機器の設計・製作の過程を含め、設計・製作技術の概念、創造性の開発、実経験（実作業）による機構、工作技術、メカトロニクスの基本理解のために解説を行っている。
	6	医用機械工学基礎(1)	和多田 雅哉	2	民間企業や研究所において、工作機械の研究・開発、主にモータ・アクチュエータの駆動・制御の開発や試作機の開発、試運転業務にも従事し、ユーザー対応の業務にも携わった実務経験に基づき、講義ではアクチュエータを使用した機器の設計・製作の過程を含め、設計・製作技術の概念、創造性の開発、実経験（実作業）による機構、工作技術、メカトロニクスの基本理解のために解説を行っている。
	7	医用機械工学基礎(2)	和多田 雅哉	2	民間企業や研究所において、工作機械の研究・開発、主にモータ・アクチュエータの駆動・制御の開発や試作機の開発、試運転業務にも従事し、ユーザー対応の業務にも携わった実務経験に基づき、講義ではアクチュエータを使用した機器の設計・製作の過程を含め、設計・製作技術の概念、創造性の開発、実経験（実作業）による機構、工作技術、メカトロニクスの基本理解のために解説を行っている。
				15	

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
エネルギー化学科	1	化学工学	高津 淑人	2	鉄鋼メーカーにおいて、石炭液化技術の実用化研究に携わり、プロセス技術管理の経験に基づいて、講義では、流体輸送システムと熱交換システムの設計を具体的に説明している。
	2	化学熱力学(1)	高津 淑人	2	鉄鋼メーカーにおいて、石炭液化技術の実用化研究に携わり、プロセス技術管理の経験に基づいて、講義では、様々な平衡状態を具体的に説明している。
	3	グリーンケミストリー	宗像 文男	2	自動車会社における材料及び環境技術に関する研究開発の経験に基づき、講義では実務経験をもとにした講義内容及び演習の設定を行っている。
	4	応用電気化学	武 哲夫	2	企業の研究所でシール鉛蓄電池、りん酸形燃料電池システム、固体高分子形燃料電池システム、固体酸化物形燃料電池およびこれらを用いた定置用トータルエネルギーシステムの研究開発に従事した経験に基づき、シール鉛蓄電池や各種燃料電池およびこれらを用いた定置用トータルエネルギーシステムの研究開発の実務経験を講義で解説している。
	5	応用化学実験発展	宗像 文男	2	自動車会社における材料及び環境技術に関する研究開発の経験に基づき、講義では実務経験をもとにした講義内容及び演習の設定を行っている。
	6	応用化学実験基礎(1)	宗像 文男	2	自動車会社における材料及び環境技術に関する研究開発の経験に基づき、講義では実務経験をもとにした講義内容及び演習の設定を行っている。
	7	反応工学	高津 淑人	2	鉄鋼メーカーにおいて、石炭液化技術の実用化研究に携わり、プロセス概念設計の経験に基づいて、講義では、設計方程式の利用事例を分かりやすく説明している。
	8	エネルギー変換工学	武 哲夫	2	企業の研究所で蓄電池や燃料電池を用いたトータルエネルギーシステムの研究開発に従事した経験に基づき、蓄電池や燃料電池を用いたトータルエネルギーシステムの研究開発の実務経験を講義で解説している。
	9	応用化学実験基礎(2)	宗像 文男	2	自動車会社における材料及び環境技術に関する研究開発の経験に基づき、講義では実務経験をもとにした講義内容及び演習の設定を行っている。
				18	

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
原子力安全工学科	1	原子力機械耐震工学	大鳥 靖樹	2	電力関係の研究所において、要望に応じて、現場・実務および研究の課題解決に携わった経験をもとに、講義では、実務での活用例および必要となる事項を中心に解説している。
	2	材料力学	大鳥 靖樹	2	電力関係の研究所において、要望に応じて、現場・実務および研究の課題解決に携わった経験をもとに、講義では、実務での活用例および必要となる事項を中心に解説している。
	3	放射線安全学(再・放射線安全管理工学と同一シラバス)	羽倉 尚人	2	電機メーカーにおいて、放射線施設管理に従事していた実務経験に基づき、講義では、実務的な放射線管理について解説している。
	4	原子炉伝熱・流動工学	鈴木 徹	2	国立研究機関にて、原子力プラントの設計と安全に関する研究開発に従事した経験に基づき、講義では、原子力プラントにおける熱流動では何が重要であるかを解説している。
	5	核燃料・材料工学	佐藤 勇	2	国立研究機関の照射後試験施設において、各種実験の実施及び燃料設計業務の経験に基づき、講義では、試験機器の取扱い方、実験計画の立て方及び燃料設計について解説している。
	6	原子炉物理学(再・原子炉物理・核データと同一シラバス)	竹澤 宏樹	2	メーカーにおいて、軽水炉輸出プロジェクトマネジメントと軽水炉安全解析の業務に従事した、実務経験の共有と国内外の軽水炉新設動向の紹介を講義で行う。
	7	核反応工学	高木 直行	2	電力会社、研究機関での発電炉運転、新型炉開発の経験に基づき、講義では、現場経験、技術開発プロジェクト経験、設計技術知見を解説している。
	8	耐震安全工学基礎	大鳥 靖樹	2	電力関係の研究所において、要望に応じて、現場・実務および研究の課題解決に携わった経験をもとに、講義では、実務での活用例および必要となる事項を中心に解説している。
	9	熱流体工学	鈴木 徹	2	国立研究機関にて、原子力プラントの設計と安全に関する研究開発に従事した経験に基づき、講義では、原子力プラントにおける熱流動では何が重要であるかを解説している。
	10	原子炉運転制御工学	高木 直行	2	電力会社、研究機関での発電炉運転、新型炉開発の経験に基づき、講義では、発電所の現場経験、技術開発プロジェクト経験、設計技術知見を解説している。
	11	原子力汎論	高木 直行	2	電力会社、研究機関での発電炉運転、新型炉開発の経験に基づき、講義では、現場経験、技術開発プロジェクト経験、設計技術知見を解説している。
	12	原子力安全工学	鈴木 徹	2	国立研究機関にて、原子力プラントの設計と安全に関する研究開発に従事した経験に基づき、講義では、原子力プラントにおける安全確保では何が重要であるかを解説している。
	13	廃炉工学	佐藤 勇	2	国立研究機関の照射後試験施設において、各種実験の実施及び燃料設計業務の経験に基づき、講義では、試験機器の取扱い方、実験計画の立て方及び燃料設計について解説している。
	14	原子炉運転実習	高木 直行	2	電力会社、研究機関での発電炉運転、新型炉開発の経験に基づき、講義では、発電所の現場経験、技術開発プロジェクト経験、設計技術知見を解説している。
				28	

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
自然科学科	1	力学	飯島 正徳	2	民間企業の研究員としての実務経験に基づき、講義内容に関する実体験の紹介を行っている。
	2	力学演習	飯島 正徳	1	民間企業の研究員としての実務経験に基づき、講義内容に関する実体験の紹介を行っている。
	3	地学(1)	萩谷 宏	2	放送事業者の学校放送番組部における科学教育番組制作の実務経験に基づき、制作した科学番組、書籍、教材を授業で活用している。
	4	波動・熱力学	飯島 正徳	2	民間企業の研究員としての実務経験に基づき、講義内容に関する実体験の紹介を行っている。
	5	地学(2)	萩谷 宏	2	放送事業者の学校放送番組部における科学教育番組制作の実務経験に基づき、制作した科学番組、書籍、教材を授業で活用している。
	6	電磁気学	飯島 正徳	2	
	7	博物館学(1)	萩谷 宏	2	
	8	博物館学実習(1)	萩谷 宏	1	
	9	分子物性論	飯島 正徳	2	
	10	博物館学(2)	萩谷 宏	2	
	11	映像表現論	萩谷 宏	2	
				20	

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
建築学科	1	建築計画(1)	天野 克也	2	設計事務所においての、市街地整備計画、都市景観計画、住宅団地計画、地方都市住宅建設計画の実務の経験に基づき、実務経験で扱った計画内容を適宜講義で紹介している。
	2	建築設備学	藤井 研一	2	組織設計事務所における建築設備に関わる設計・工事監理・積算・CM業務や熱供給会社の技術部署におけるプラント計画・発注業務の実務経験に基づき、空気調和設備・給排水衛生設備・電気設備の設計・施工に関わる事項の講義を行っている。
	3	設計基礎(1)	天野 克也	1	設計事務所においての、市街地整備計画、都市景観計画、住宅団地計画、地方都市住宅建設計画の実務の経験に基づき、実務経験で扱った計画内容を適宜講義で紹介している。
	4	都市計画(2)	天野 克也	2	設計事務所においての、市街地整備計画、都市景観計画、住宅団地計画、地方都市住宅建設計画の実務の経験に基づき、実務経験で扱った計画内容を適宜講義で紹介している。
	5	建築史(1)	福島 加津也	2	建築設計事務所において、現在も建築設計を行っている実務経験を講義に生かしている。
	6	技術者倫理	勝又 英明	2	建築設計事務所での意匠設計業務の経験に基づき、講義では、意匠設計業務の際の建築法規の適合について解説している。
	7	建築工学モデリング	近藤 靖史	2	組織設計事務所における建築環境計画及び建築設備設計の実務経験に基づき、講義では、実務での経験を紹介している。
	8	インテリアデザイン	堀場 弘	2	建築設計事務所において、建築設計を行っている実務経験に基づき、実際の現場で行われている様々な条件をもとにかたちにしていくプロセスや、社会において実現するための技術、コスト、制作などの課題、デザインの意図を明確に表現する工夫について、実例をもとに指導を行っている。
	9	建築実験	藤井 研一	2	組織設計事務所における建築設備に関わる設計・工事監理・積算・CM業務(医療施設、生産施設、集合住宅、戸建住宅、庁舎、事務所、劇場、熱供給施設等)や熱供給会社の技術部署におけるプラント計画・発注業務の実務経験に基づき、環境設備実験(温熱環境)の解説を行っている。
	10	設計(3)	福島 加津也	4	建築設計事務所において、現在も建築設計を行っている実務経験を講義(演習)に生かしている。
	11	建築設備学基礎	近藤 靖史 藤井 研一	2	組織設計事務所における建築環境計画及び建築設備設計の実務経験に基づき、講義では、実務での経験を紹介している。 組織設計事務所における建築設備に関わる設計・工事監理・積算・CM業務、熱供給会社の技術部署におけるプラント計画・発注業務の実務経験に基づき、給排水衛生設備の設計・施工に関わる事項の講義を行っている。
	12	設計(5)	堀場 弘	4	建築設計事務所において、建築設計を行っている実務経験に基づき、現在の日本社会における都市的な課題を公共的な側面から問い直し、将来的な見通しを踏まえて、課題設定し、最新の建築の技術的な構成、都市開発、環境問題などに関する知見や様々な関連事例、歴史的な発展過程をふまえた指導を行っている。
	13	建築設備学応用	藤井 研一	2	組織設計事務所における建築設備に関わる設計・工事監理・積算・CM業務や熱供給会社の技術部署におけるプラント計画・発注業務の実務経験に基づき、空気調和設備・給排水衛生設備・電気設備の設計・施工に関わる事項の講義を行っている。
	14	再・設計基礎(2)	天野 克也	3	設計事務所においての、市街地整備計画、都市景観計画、住宅団地計画、地方都市住宅建設計画の実務の経験に基づき、実務経験で扱った計画内容を適宜講義で紹介している。
	15	建築環境工学(2)	近藤 靖史	2	組織設計事務所における建築環境計画及び建築設備設計の実務経験に基づき、講義では、実務での経験を紹介している。
	16	設計(4)	堀場 弘	4	建築設計事務所において、建築設計を行っている実務経験に基づき、現在の日本社会における公共建築の役割と将来的な見通しを踏まえて、課題設定や最新の建築の技術的な構成、環境問題などに関する知見、様々な関連事例、歴史的な発展過程をふまえた指導を行っている。
				38	

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
都市工学科	1	耐震工学	吉田 郁政	2	建設コンサルタントにおいて構造解析、地盤解析、リスク評価、耐震性評価等に 従事した実務経験に基づき、講義では、基本事項及び具体的な計算方法の説明、 及び演習問題作成等に活かしている。
	2	インフラデザイン(建築学科開講の再・ インフラデザインと同一シラバス)	中村 隆司	2	官公庁において、地方・国土計画の策定等に関する実務に従事した経験に基づ き、講義では、具体的な事例の提示、重要な要点の提示など行っている。
	3	構造力学(3)	関屋 英彦	2	建設会社における設計部の業務に従事した経験に基づき、講義では、実務で行わ れている内容を紹介することにより、本講義の意義を理解し易くしている。
	4	技術者倫理	皆川 勝	2	技術士事務所において、各自治体の橋梁長寿命化計画策定の指導やコミュニケー ションスキルに関わる実務家指導などの実務に従事した経験に基づき、講義で は、エンジニアとしての倫理規範・価値基準、実社会で倫理課題に直面した時の 対応手段、「技術と社会の関係」と「事故事例」、「未来の技術が社会に与える 影響」などの解説に活かしている。
	5	インフラマネジメント	五艘 隆志	2	建設系の研究所および独立コンサルタントとしての公共事業設計業務に関する実 務経験に基づき、講義では、建設契約の解説、演習課題の設定に実務経験を活か している。
	6	構造力学(4)	伊藤 和也	2	独立行政法人における建設工事の災害原因究明及び災害防止研究に関する実務経 験に基づき、講義では、静定・不静定構造、座屈の解説に活かしている。
	7	土の性質	伊藤 和也	2	独立行政法人における建設工事の災害原因究明及び災害防止研究に関する実務経 験に基づき、講義では、土の工学的な分類、基本的な物性、土の透水性、土の締 固めなどの解説に活かしている。
	8	数理統計学	吉田 郁政	2	建設コンサルタントにおいて構造解析、地盤解析、リスク評価、耐震性評価等に 従事した実務経験に基づき、講義では、応用事例等を解説している。
	9	キャリア開発(2)	五艘 隆志	1	建設系の研究所および独立コンサルタントとしての公共事業設計業務に関する実 務経験に基づき、講義では、外部講師の選定・招聘、外部講師による講義の補足 説明などに実務経験を活かしている。
	10	都市計画(1)	中村 隆司	2	官公庁において、地方・国土計画の策定等に関する実務に従事した経験に基づ き、講義では、具体的な事例の提示、重要な要点の提示など行っている。
	11	都市・地域分析	中村 隆司	2	官公庁において、地方・国土計画の策定等に関する実務に従事した経験に基づ き、講義では、具体的な事例の提示、重要な要点の提示など行っている。
	12	海外建設プロジェクトマネジメント	五艘 隆志 皆川 勝	2	技術士事務所において、各自治体の橋梁長寿命化計画策定の指導やコミュニケー ションスキルに関わる実務家指導などの実務に従事した経験に基づき、講義で は、外部講師の選定・招聘、外部講師による海外プロジェクト紹介の補足説明、 ディスカッションの課題設定などを行っている。 建設系の研究所および独立コンサルタントとしての公共事業(河川構造物)設計業 務に関する実務経験に基づき、講義では、外部講師による海外プロジェクト紹介 の補足説明や、建設契約の解説、公共調達をモデルとした模擬入札課題の設定な どを行っている。
	13	鉄筋コンクリート構造	関屋 英彦	2	建設会社において、設計部での実務経験に基づき、講義では、実務における考え 方を説明している。
	14	総合演習ゼミナール	伊藤 和也	1	独立行政法人における建設工事の災害原因究明及び災害防止研究に関する実務経 験に基づき、講義では、各種問題の解説を行っている。
	15	キャリア開発(1)	五艘 隆志	1	建設系の研究所および独立コンサルタントとしての公共事業設計業務に関する実 務経験に基づき、講義では、外部講師の選定・招聘、外部講師による講義の補足 説明などに実務経験を活かしている。
	16	都市設計製図	関屋 英彦	2	建設会社における設計部の業務に従事した経験に基づき、講義(演習)では、実務 で行われている内容を紹介することにより、本講義の意義を理解し易くしてい る。
				29	

建築都市デザイン学部

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
建築学科	1	設計基礎(1)	天野 克也	1	設計事務所においての、市街地整備計画、都市景観計画、住宅団地計画、地方都市住宅建設計画の実務の経験に基づき、実務経験で扱った計画内容を適宜講義で紹介している。
	2	設計基礎(2)	天野 克也	1.5	設計事務所においての、市街地整備計画、都市景観計画、住宅団地計画、地方都市住宅建設計画の実務の経験に基づき、実務経験で扱った計画内容を適宜講義で紹介している。
	3	設計基礎(3)	天野 克也	1.5	設計事務所においての、市街地整備計画、都市景観計画、住宅団地計画、地方都市住宅建設計画の実務の経験に基づき、実務経験で扱った計画内容を適宜講義で紹介している。
	4	建築設備学基礎(1)	近藤 靖史	1	
	5	建築環境工学(2)	近藤 靖史	2	
	6	建築工学モデリング(1)	近藤 靖史	1	
	7	技術者倫理	福島 加津也	2	
	8	設計(1)	福島 加津也	2	
	9	設計(2)	福島 加津也	2	
	10	西洋建築史	福島 加津也	2	
	11	日本建築史	福島 加津也	2	
	12	設計(5)	福島 加津也	2	
	13	設計(6)	福島 加津也	2	
	14	都市計画(2)	堀場 弘	2	
	15	キャリア開発	堀場 弘	1	
	16	建築計画(1)	堀場 弘	2	
	17	設計スタジオ(1)	堀場 弘	2	
	18	設計スタジオ(2)	堀場 弘	2	
	19	設計スタジオ(3)	堀場 弘	2	
	20	設計スタジオ(4)	堀場 弘	2	
	21	空間スタジオ演習	堀場 弘	1.5	
				37	

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
都市工学科	1	<u>都市のインフラストラクチャー</u>	皆川 勝	2	技術士事務所において、各自治体の橋梁長寿命化計画策定の指導やコミュニケーションスキルに関わる実務家指導などの実務に従事した経験に基づき、講義では、インフラストラクチャーの事業構想・事業化・計画・建設・維持管理運営と活用について基本的な事項の解説に活かしている。
	2	都市工学概論	皆川 勝	1	
	3	数理統計学	吉田 郁政	2	
	4	技術者倫理	吉田 郁政	2	
	5	都市防災論	吉田 郁政	2	
	6	耐震工学	吉田 郁政	2	
	7	都市工学実験演習(1)	伊藤 和也	1	
	8	総合演習ゼミナール	伊藤 和也	1	
	9	地盤工学及び演習(1)	伊藤 和也	3	
	10	地圏環境工学	伊藤 和也	2	
	11	インフラデザイン	五艘 隆志	2	
	12	都市交通計画	五艘 隆志	2	
	13	キャリア開発	五艘 隆志	1	
	14	インフラマネジメント	五艘 隆志	2	
	15	都市計画(1)	中村 隆司	2	
	16	都市・地域分析	中村 隆司	2	
	17	設計基礎	中村 隆司	1	
	18	都市構造設計	関屋 英彦	2	
	19	都市工学設計製図	関屋 英彦	1	
	20	都市工学実験演習(2)	関屋 英彦	1	
	21	構造力学及び演習(2)	関屋 英彦	3	
	22	コンクリート工学及び演習	関屋 英彦	3	
				40	

情報工学部
(旧知識工学部)

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
情報科学科	1	オブジェクト指向プログラミング(1)	横山 孝典	1	企業にてオブジェクト指向ソフトウェア開発に従事した経験に基づき、講義(演習)では、実務経験で取得した知識やスキルを解説している。
	2	コンピュータ概論	向井 信彦	2	企業において、計算機の設計に従事した経験に基づき、講義では、企業で経験した実務について解説している。
	3	組み込みシステム	横山 孝典	2	企業にて組み込みソフトウェア開発に従事した経験に基づき、講義では、実務経験で取得した知識やスキルを解説している。
	4	オブジェクト指向プログラミング(2)	横山 孝典	1	企業にてオブジェクト指向ソフトウェア開発に従事した経験に基づき、講義(演習)では、実務経験で取得した知識やスキルを解説している。
	5	情報科学演習	向井 信彦 横山 孝典	3	企業にてソフトウェア開発や計算機の設計に従事した経験に基づき、講義(演習)では、実務経験で取得した知識やスキルを解説している。
		画像処理	向井 信彦	2	企業において、画像処理の実践を行ってきた経験に基づき、講義では、企業で経験した実務について解説している。
	6	コンピュータグラフィックス	向井 信彦	2	企業において、コンピュータグラフィックスの実践を行ってきた経験に基づき、講義では、企業で経験した実務について解説している。
	7	ソフトウェア工学	横山 孝典	2	企業にてソフトウェア開発に従事した経験に基づき、講義では、実務経験で取得した知識やスキルを解説している。
				15	

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
情報通信工学科	1	集積回路システム工学(再・システムLSI設計論と同一シラバス)	柴田 随道	2	企業の研究所において、集積回路の設計開発に従事した経験に基づき、講義では適宜、実務経験を盛り込んだ解説を行っている。
	2	通信システム	佐和橋 衛	2	民間企業において、移动通信方式(3G, 4G方式)の研究開発や無線インタフェースの標準化に従事した経験に基づき、講義では、学習する技術の実用システムへの適用性、有効性を説明している。
	3	デジタル信号処理	傘 昊	2	半導体企業において、集積回路設計開発に従事した経験に基づき、講義では、デジタル信号処理の基礎概念や集積回路によるデジタル信号処理実現手法等、基礎知識と応用手法の両方を解説している。
	4	再・応用プログラミング(1)	塩本 公平	1	通信事業者の研究所において、インターネットなどの情報ネットワークのアーキテクチャ、運用制御技術の基盤的研究開発に従事し、また、IETFなどの国際標準化活動を通じて、技術の世界的な普及を行ってきた経験に基づき、講義では、企業での研究開発で必要となるスキルを把握させる。特に、プログラムの実務に関して、何を作るか、どのように作るか、作ったプログラムのデバッグをどのように行うかということを、企業の研究所での実務経験を踏まえて解説している。
	5	再・基礎確率統計	林 正博	2	企業における統計分析の実務に従事した経験に基づき、講義では、実例と、その時の考え方を解説している。
	6	再・コンピュータ概論	塩本 公平	2	通信事業者の研究所において、インターネットなどの情報ネットワークのアーキテクチャ、運用制御技術の基盤的研究開発に従事し、また、IETFなどの国際標準化活動を通じて、技術の世界的な普及を行ってきた経験に基づき、講義では、企業での研究開発で必要となるスキルを把握させる。特に、コンピュータ概論で学ぶ計算機科学の各科目がICT業界の実務においてどのように用いられるかに触れながら、当該科目の意義を解説している。
	7	再・プログラミング(1)	塩本 公平	1	通信事業者の研究所において、インターネットなどの情報ネットワークのアーキテクチャ、運用制御技術の基盤的研究開発に従事し、また、IETFなどの国際標準化活動を通じて、技術の世界的な普及を行ってきた経験に基づき、講義では、企業での研究開発で必要となるスキルを把握させる。特に、プログラムの実務に関して、何を作るか、どのように作るか、作ったプログラムのデバッグをどのように行うかということを、企業の研究所での実務経験を踏まえて解説している。
	8	再・情報通信工学演習及び実験(1)	塩本 公平	2	通信事業者の研究所において、インターネットなどの情報ネットワークのアーキテクチャ、運用制御技術の基盤的研究開発に従事し、また、IETFなどの国際標準化活動を通じて、技術の世界的な普及に貢献してきた経験に基づき、企業での通信ネットワーク構築や電子回路設計開発の実務経験に基づくテーマを選定し、演習と実験を通じて、コンピュータネットワーク、通信網の信頼性の解析手法や、電子計測器の応用、トランジスタとICの応用等の関連知識に対する理解を深めるように指導している。
	9	再・通信集積回路(1)	傘 昊	2	半導体企業において、集積回路設計開発に従事した経験に基づき、講義では、集積回路設計に欠かせないトランジスタ回路の動作原理や集積回路設計の基礎知識を解説している。
	10	再・電気回路	傘 昊	2	半導体企業において、集積回路設計開発に従事した経験に基づき、講義では、集積回路設計に欠かせない電気信号の基本概念や「電気回路」の基礎知識を解説している。
	11	再・論理回路	林 正博	2	企業において、論理回路の考え方を生かした通信ネットワーク設計に従事していた経験に基づき、講義では、実例とその考え方の解説をしている。
	12	通信信頼性工学	林 正博	2	企業において、通信ネットワークの信頼性設計の実務に携わった経験に基づき、講義では、実際の設計事例と、その時の実務について紹介している。
	13	再・基礎論理回路	林 正博	2	企業において、論理関数を用いた通信ネットワーク設計の業務に従事した経験に基づき、講義では、実例の紹介を行っている。
	14	再・通信基礎数学	林 正博	2	企業において、数学を用いた通信ネットワーク業務に従事した経験に基づき、講義では、数学を用いた設計事例とその考え方を解説している。
	15	再・キャリアデザイン	林 正博	1	企業において、通信ネットワークの業務に従事した経験に基づき、講義では、企業訪問に関する具体的アドバイスを行っている。
	16	再・情報通信工学演習及び実験(2)	佐和橋 衛	2	企業において、移动通信方式(3G, 4G方式)の研究業務に従事した経験に基づき、講義では、学習する技術の実用システムへの適用性、有効性を説明している。
	17	再・応用電気回路	傘 昊	2	半導体企業において、集積回路設計開発に従事した経験に基づき、講義では、電気回路の知識を深め、実用的な電気回路の解析手法と設計手法に関連する知識を解説している。
				31	

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
知能情報工学科	1	専門キャリアデザイン	芝 正孝	1	メーカーにおいて、採用活動に関わった経験に基づき、実務のノウハウを解説するとともに、外部講師の招聘を行っている。
	2	経営情報システム	渡部 和雄	2	企業において経営情報システムの研究開発に従事した経験に基づき、講義では、企業で培った様々な経験を学生に解説している。
	3	オペレーションズリサーチ	塩本 公平	1	通信事業者の研究所において、インターネットなどの情報ネットワークのアーキテクチャ、運用制御技術の基盤的研究開発に従事し、また、IETFなどの国際標準化活動を通じて、技術の世界的な普及を行ってきた経験に基づき、講義では、企業での研究開発で必要となるスキルや革新的技術を創造する上で必要となる考え方やグローバルで活躍するために必要なことを解説している。また、オペレーションズリサーチが企業での研究開発や事業活動にどのように用いられるかを解説している。
	4	企業マネジメント	渡部 和雄	2	企業において経営情報システムの研究開発に従事した経験に基づき、講義では、企業で培った様々な経験を学生に解説している。
	5	ネットワークアルゴリズム	塩本 公平	2	通信事業者の研究所において、インターネットなどの情報ネットワークのアーキテクチャ、運用制御技術の基盤的研究開発に従事し、また、IETFなどの国際標準化活動を通じて、技術の世界的な普及を行ってきた経験に基づき、講義では、企業での研究開発で必要となるスキルや革新的技術を創造する上で必要となる考え方やグローバルで活躍するために必要なことを解説している。また、ネットワークアルゴリズムで学ぶシステムの設計・運用に必要な性能評価や最適化を行うための数学的道具（待ち行列理論、確率過程に基づくシミュレーション、数理計画法、各種アルゴリズム）が企業での研究開発にどのように用いられるかを解説している。
	6	グローバル企業マネジメント	芝 正孝	2	メーカーにおいて、国内外グループ会社に対するIT戦略の立案やその展開を行ってきた経験、また、ITや情報セキュリティに関するグローバル・ガバナンススキームの構築に従事したことを活かして、講義(演習)では、グローバル経営におけるこれまでの経験に基づく知識・ノウハウを解説している。また、外部講師の招聘を行っている。
	7	ビジネスモデル	渡部 和雄	2	企業において経営情報システムの研究開発に従事した経験に基づき、講義では、企業で培った様々な経験を学生に解説している。
	8	コンピュータネットワーク	塩本 公平	2	通信事業者の研究所において、インターネットなどの情報ネットワークのアーキテクチャ、運用制御技術の基盤的研究開発に従事し、また、IETFなどの国際標準化活動を通じて、技術の世界的な普及を行ってきた経験に基づき、講義では、企業での研究開発で必要となるスキルや革新的技術を創造する上で必要となる考え方やグローバルで活躍するために必要なことを解説している。
	9	クラウドコンピューティング	塩本 公平	2	通信事業者の研究所において、インターネットなどの情報ネットワークのアーキテクチャ、運用制御技術の基盤的研究開発に従事し、また、IETFなどの国際標準化活動を通じて、技術の世界的な普及を行ってきた経験に基づき、講義では、企業での研究開発で必要となるスキルや革新的技術を創造する上で必要となる考え方やグローバルで活躍するために必要なことを解説している。
	10	企業評価	岡田 公治	2	電機メーカーの研究所および戦略本部において、経営分析・経営管理手法の研究及び事業部門への改善指導に従事した経験に基づき、講義では、実務の知見を初学者向けにアレンジして解説している。
	11	デジタル社会に求められる人材	芝 正孝	2	メーカーにおいて、国内外のグループ会社がデジタル社会に対応していくためのIT戦略の立案やその展開を行った経験に基づき、実務の経験を学生に解説している。
				20	

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
自然科学科	1	物理学(1)(力学と同一シラバス)	飯島 正徳	2	民間企業の研究員としての実務経験に基づき、講義内容に関係する実体験の紹介を行っている。
	2	物理学(1)演習(力学演習と同一シラバス)	飯島 正徳	1	民間企業の研究員としての実務経験に基づき、講義内容に関係する実体験の紹介を行っている。
	3	地学(1)	萩谷 宏	2	放送事業者の学校放送番組部における科学教育番組制作の実務経験に基づき、制作した科学番組、書籍、教材を授業で活用している。
	4	電磁気学	飯島 正徳	2	民間企業の研究員としての実務経験に基づき、講義内容に関係する実体験の紹介を行っている。
	5	博物館学(1)	萩谷 宏	2	大学博物館において学芸員業務に従事した経験に基づき、講義では、学芸員の仕事の実際を紹介し、過去の展示作品などを教材として使用している。
	6	博物館学実習(1)	萩谷 宏	1	大学博物館において学芸員業務に従事した経験に基づき、講義では、実際の展示作成、過去の特別展の資料などを紹介している。
	7	物理学(2)(波動・熱力学と同一シラバス)	飯島 正徳	2	民間企業の研究員としての実務経験に基づき、講義内容に関係する実体験の紹介を行っている。
	8	地学(2)	萩谷 宏	2	放送事業者の学校放送番組部における科学教育番組制作の実務経験に基づき、制作した科学番組、書籍、教材を授業で活用している。
	9	分子物性論	飯島 正徳	2	民間企業の研究員としての実務経験に基づき、講義内容に関係する実体験の紹介を行っている。
	10	博物館学(2)	萩谷 宏	2	大学博物館において学芸員業務に従事した経験に基づき、講義では、博物館の経営や、維持するための努力について説明している。
	11	映像表現論	萩谷 宏	2	放送事業者の学校放送番組部における科学教育番組制作の実務経験に基づき、制作した科学番組、書籍、教材を授業で活用している。
				20	

環境学部

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
環境創生学科	1	生物分類学	北村 亘 内山 翼	2	環境アセスメントおよび生物調査業務に従事した経験を活かし、実務で得た野外での野生生物の調査手法を紹介し、実践的調査手法の技能指導につとめる。(北村) / 公園緑地の計画および維持管理に従事した経験を活かし、植物の調査手法や形態的な特徴の指導に努める。(内山)
	2	生態学概論	北村 亘	2	環境アセスメントおよび生物調査業務に従事した経験を活かし、様々な実務から得た経験をもとにした生態学的現象を紹介し、生態学の理解を深める授業をおこなう。
	3	画像処理技法	史 中超	2	地図作成GIS、リモートセンシングなどに関わっている東京カートグラフィック(株)、(株)パスコ、国際航業(株)などの会社と長年にわたって共同研究、共同開発を行ってきており。アドバイザーとしての実務経験も有する。この経験を活かし、講義中、民間会社とのかかわりで得られた情報を基に、今どのような技術やスキルが求められているか、今後のトレンドはどうなっているかなどを学生にわかりやすく伝えることや、画像処理ソフトGIMPと空間情報ツールGoogle Earthを使って、画像の合成や分解の方法をはじめ、時系列衛星画像から森林伐採面積や北極氷の変化の抽出方法を指導する。
	4	図化表現技法	田中 章	2	生物多様性保全、ランドスケープ計画、環境影響評価を行うコンサルタントとして20年以上従事した経験を活かし、一般教養としての環境教育ではなく、実践的な環境分野人材育成教育を行い、受講生が実践力を身につけられるように努めている。
	5	都市環境学概論	丹羽 由佳理	2	課題やエリアマネジメントや都市開発などの実務で得た経験に基づき、演習や課題を提供する。
	6	都市・居住環境論	室田 昌子	2	住環境整備・まちづくり政策関連の調査研究・計画策定に従事した経験を活かし、講義の中で、実際の具体的事例や、様々な手法や制度が実務ではどのように使われ実現されるか、またはされないかなどの具体例を紹介する。
	7	マネジメント入門	郭 偉宏	2	ベンチャー企業での研究開発に従事した経験を活かし、知見を初学者向けにアレンジして講義の中で活用する。
	8	持続可能な消費	古川 柳蔵	2	シンクタンク業界において、情報収集やその分析に従事した実務経験を活かし、実践が必要とされる、収集した情報の分析方法等について指導する。
	9	情報社会入門	奥村 倫弘	2	読売新聞記者6年、Yahoo!ニュース編集者20年で得た経験を活かし、メディアのビジネスで培った現場の実際のほか、経験や考え方を交えながら講義します。
	10	環境化学	久米 一成	2	静岡県環境衛生科学研究所等で大気汚染・水質汚濁等の環境問題の調査・研究に従事するとともに、環境省の臭気指数規制ガイドライン策定検討委員やダイオキシン類受注資格審査分科会委員、国立環境研究所客員研究員、静岡県立大学客員教授等として、国の環境行政における施策作業や地球規模的環境問題研究等に参加した。またJICAの国際環境技術協力としてタイに2年間、エジプトに2か月などの専門家を派遣や、中国の大気汚染による文化財影響調査、ヨーロッパにおける酸性雨調査に従事した。これらの実務経験は、講義において環境問題における貴重な体験としてP.P.資料の中で紹介し、環境問題の発生から解決への理解を深めるツールとして活用する。
	11	特別講義(環境計量士コース)	久米 一成 石田 康二	2	(久米) 静岡県環境衛生科学研究所等で大気汚染防止法、水質汚濁防止法等の環境法に基づき特定事業場への立ち入り調査や大気汚染・水質汚濁等の汚染物質の機器分析・大気自動測定等の業務に従事するとともに、JICAの環境技術専門家としてタイ、エジプトでのカウンターパートの分析技術指導や静岡県立大学客員教授として大学院生の分析技術指導に携わる。これらの実務経験を活用し、環境法規の成り立ちや分析機器の取り扱い等、現物写真や実際の分析風景等をP.P.資料の中で分かりやすく紹介し、環境計量士の国家試験問題における様々な用語の理解促進に役立てる。(石田) 東急建設技術研究所音響研究室にて17年間(内3年半は海外留学) 建築音響、騒音振動関連の研究開発に従事、その後現在に至る20年間、小野測器にて、環境騒音振動を含めた騒音振動関連のコンサルティング業務を中心とした実務経験がある。また日本騒音制御工学会など学会活動を通じて騒音振動関連の規格策定にも携わる。建設会社と測定機器メーカーでの研究開発、コンサルティングの実務経験を活かして、環境計量士試験の内容に沿って、図解を中心にして解りやすい講義を目指します。
	12	情報通信入門	斉藤 茂樹	2	NTT研究所で初代デジタル携帯電話機を開発(2018年度電波技術協会賞受賞)。第1級無線従事技術士取得。回路設計から標準規格化まで担当。NTTエレクトロニクス株式会社(NEL)で各種通信機器を開発。特に、無線LAN(Wi-Fi)用IC、TV素材伝送無線装置、及びIoT用無線装置、並びにセキュリティ技術を開発。IoT用無線装置開発では、ガス/水道メータ遠隔検針(家庭、コンビニ)、バス追跡、太陽光発電監視、パレット追跡、ビニールハウス監視、災害対策(河川水位監視、避難者支援)等の無線機器やシステムを開発。その他、特許事務所及びNEL知財部門にて特許出願作業に従事。NELでは最新の光通信技術の特許化を担当中。また、他大学大学院にて、通信機器工学及び情報伝送工学をディスカッション形式で講義中。これらの実務経験を活かして、情報通信技術の様々な疑問について分かり易く解説する。特に、IoT用無線技術は、環境に関する様々なデータ収集方法を紹介するので環境学部学生の今後の研究活動の一助になると考える。また、TV素材伝送無線技術は、現場からの情報がTV放送で手元に届くしくみを知ることができ、情報メディア学部学生がメディアを考える上での一助になると考える。さらに、セキュリティ技術は各情報の正確性、知的財産権の知識はビジネス化を考える上で必須となる。
	13	環境マネジメントシステム	谷口 幸弘	2	企業でのISO14001に基づく、環境マネジメントシステムの構築及び運用の経験や、環境マネジメントシステム認証機関での審査員の経験を活かし、環境マネジメントシステムの実践例などの紹介に活かす。
				26	

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
環境経営システム学科	1	生態学概論	北村 亘	2	環境アセスメントおよび生物調査業務に従事した経験を活かし、様々な実務から得た経験をもとにした生態学的現象を紹介し、生態学の理解を深める授業をおこなう。
	2	画像処理技法	史 中超	2	地図作成GIS、リモートセンシングなどに関わっている東京カートグラフィック(株)、(株)パスコ、国際航業(株)などの会社と長年にわたって共同研究、共同開発を行ってきており。アドバイザーとしての実務経験も有する。この経験を活かし、講義中、民間会社とのかかわりで得られた情報を基に、今のような技術やスキルが求められているか、今後のトレンドはどうなっているかなどを学生にわかりやすく伝えることや、画像処理ソフトGIMPと空間情報ツールGoogle Earthを使って、画像の合成や分解の方法をはじめ、時系列衛星画像から森林伐採面積や北極氷の変化の抽出方法を指導する。
	3	都市環境学概論	丹羽 由佳理	2	課題やエアリアマネジメントや都市開発などの実務で得た経験に基づき、演習や課題を提供する。
	4	エコマテリアル	伊坪 徳宏	2	材料を対象とした環境パフォーマンス評価に従事した経験を活かし、材料の環境特性やその利用法の解説、見学を通じた実践的教育を行う
	5	マネジメント入門	郭 偉宏	2	ベンチャー企業での研究開発に従事した経験を活かし、知見を初學者向けにアレンジして講義の中で活用
	6	環境経営システム学入門	馬場 健司 伊坪 徳宏 大久保 寛基 大塚 善樹 岡田 啓 岡田 公治 郭 偉宏 木村 眞実 佐藤 真久 フィッツボーンズ 雄亮 古川 務 古川 柳蔵	2	大塚は医薬品の研究開発、古川は民間シンクタンクでのコンサルティングや政策提案、岡田は電機メーカーの研究等における経営分析・経営管理手法の研究等、馬場は公益財団法人の研究等において地方自治体の環境政策やエネルギー政策調査、分析をそれぞれ担当した。これらの経験を活かし、得られた知見や新たな手法等を初學者向けにアレンジして講義する。
	7	持続可能な消費	古川 柳蔵	2	シンクタンク業界において、情報収集やその分析に従事した実務経験を活かし、実践で必要とされる、収集した情報の分析方法等について指導する。
	8	情報社会入門	奥村 倫弘	2	読売新聞記者6年、Yahoo!ニュース編集者20年で得た経験を活かし、メディアのビジネスで培った現場の実際のほか、経験や考え方を交えながら講義します。
	9	特別講義(環境計量士コース)	久米 一成 石田 康二	2	(久米) 静岡県環境衛生科学研究所等で大気汚染防止法、水質汚濁防止法等の環境法令に基づき特定事業場への立ち入り調査や大気汚染・水質汚濁等の汚染物質の機器分析・大気自動測定等の業務に従事するとともに、JICAの環境技術専門家としてタイ、エジプトでのカウンターパートの分析技術指導や静岡県立大学客員教授として大学院生の分析技術指導に携わる。これらの実務経験を活用し、環境法規の成り立ちや分析機器の取り扱い等、現物写真や実際の分析風景等をP.P.資料の中で分かりやすく紹介し、環境計量士の国家試験問題における様々な用語の理解促進に役立てる。(石田) 東急建設技術研究所音響研究室にて17年間(内3年半は海外留学) 建築音響、騒音振動関連の研究開発に従事、その後現在に至る20年間、小野測器にて、環境騒音振動を含めた騒音振動関連のコンサルティング業務を中心とした実務経験がある。また日本騒音制御工学会など学会活動を通じて騒音振動関連の規格策定にも携わる。建設会社と測定機器メーカーでの研究開発、コンサルティングの実務経験を活かして、環境計量士試験の内容に沿って、図解を中心に解りやすい講義を目指します。
	10	マクロ経済学	寺西 勇生	2	日本銀行にエコノミストとして10年以上勤務し、日本銀行では実際の経済の動向についての分析をたくさん経験した。こうした経験を生かして日本経済と経済理論の繋がりを分かりやすく説明していきたい。
	11	情報通信入門	斉藤 茂樹	2	NTT研究所で初代デジタル携帯電話機を開発(2018年度電波技術協会賞受賞)。第1級無線従事技術士取得。回路設計から標準規格化まで担当。NTTエレクトロニクス株式会社(NEL)で各種通信機器を開発。特に、無線LAN(Wi-Fi)用IC、TV素材伝送無線装置、及びIoT用無線装置、並びにセキュリティ技術を開発。IoT用無線装置開発では、ガス/水道メータ遠隔検針(家庭、コンビニ)、バス追跡、太陽光発電監視、パレット追跡、ビニールハウス監視、災害対策(河川水位監視、避難者支援)等の無線機器やシステムを開発。その他、特許事務所及びNEL知財部門にて特許出願作業に従事。NELでは最新の光通信技術の特許化を担当中。また、他大学大学院にて、通信機器工学及び情報伝送工学をディスカッション形式で講義中。これらの実務経験を活かして、情報通信技術の様々な疑問について分かり易く解説する。特に、IoT用無線技術は、環境に関する様々なデータ収集方法を紹介するので環境学部学生の今後の研究活動の一助になると考える。また、TV素材伝送無線技術は、現場からの情報がTV放送で手元に届くしくみを知ることができ、情報メディア学部学生がメディアを考える上での一助になると考える。さらに、セキュリティ技術は各情報の正確性、知的財産権の知識はビジネス化を考える上で必須となる。
	12	環境マネジメントシステム	谷口 幸弘	2	企業でのISO14001に基づく、環境マネジメントシステムの構築及び運用の経験や、環境マネジメントシステム認証機関での審査員の経験を活かし、環境マネジメントシステムの実践例などの紹介に活かす。
				24	

メディア情報学部

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
社会メディア学科	1	現代国内情勢	高田 昌幸	2	高田は、新聞社において取材、編集デスクを30年以上、またYahoo!ニュース特集においてアドバイザー業務を継続中である。この間の取材分野は政治、経済、国際（ロンドン特派員）、警察・司法など多岐にわたっており、それらすべての分野で取材編集実務に長けている。日本新聞協会賞、日本ジャーナリスト会議賞、菊池寛賞などの受賞歴があり、日本を代表する調査報道記者として活動してきた。また社団法人日本記者クラブ、および日本ジャーナリスト会議（JCJ）等の公的団体において後進育成事業にも長く携わってきた。記者、編集者、ジャーナリスト育成教育の30年以上に及ぶ経験を元に、取材プロセスの解明、ニュース価値の判断基準、記事の読み解き方などを教育する。これらは実践的な内容である。また、メディアリテラシー教育、および文章作成技術などを授業に応用する。
	2	情報と社会	中村 雅子 李 洪千	2	李は、韓国記者協会編集局次長、民主党大統領選挙対策本部演説秘書として従事した実践的経験を受講生に伝授する
	3	情報編集入門	永盛 祐介	2	永盛はグラフィックデザイン、インタフェースデザイン、WEBデザイン、映像制作の実務経験を有しており、その実務経験により得られた技術に基づき講義を行う。
	4	統計学基礎	山崎 瑞紀	2	研究所での量的・質的調査の立案及び実施に従事した経験を活かし、社会調査に関する知識・技術を伝える
	5	SD PBL(1)	李 洪千 奥村 倫弘 永盛 祐介 広田 すみれ 矢吹 理恵 山崎 瑞紀	1	李は、韓国記者協会編集局次長、民主党大統領選挙対策本部演説秘書として従事した実践的経験を受講生に伝授する
	6	現代社会とメディア	李 洪千 広田 すみれ	2	李は、韓国記者協会編集局次長、民主党大統領選挙対策本部演説秘書として従事した実践的経験を受講生に伝授する
	7	コンピュータグラフィックス	宮地 英生	2	コンピュータグラフィックスを用いたソフトウェアの開発、販売に25年以上従事した経験を活かし、コンピュータグラフィックスの産業界の利用について、実践的な事例などを用いて講義を実施する。
	8	特別講義(環境計量士コース)	久米 一成 石田 康二	2	(久米) 静岡県環境衛生科学研究所等で大気汚染防止法、水質汚濁防止法等の環境法に基づき特定事業場への立ち入り調査や大気汚染・水質汚濁等の汚染物質の機器分析・大気自動測定等の業務に従事するとともに、JICAの環境技術専門家としてタイ、エジプトでのカウンターパートの分析技術指導や静岡県立大学客員教授として大学院生の分析技術指導に携わる。これらの実務経験を活かし、環境法規の成り立ちや分析機器の取り扱い等、現物写真や実際の分析風景等をP.P.資料の中で分かりやすく紹介し、環境計量士の国家試験問題における様々な用語の理解促進に役立っている。(石田) 東急建設技術研究所音響研究室にて17年間（内3年半は海外留学）建築音響、騒音振動関連の研究開発に従事、その後現在に至る20年間、小野測器にて、環境騒音振動を含めた騒音振動関連のコンサルティング業務を中心とした実務経験がある。また日本騒音制御工学会など学会活動を通じて騒音振動関連の規格策定にも携わる。建設会社と測定機器メーカーでの研究開発、コンサルティングの実務経験を活かして、環境計量士試験の内容に沿って、図解を中心に解りやすい講義を目指します。
	9	情報通信技術入門	齊藤 茂樹	2	NTT研究所で初代デジタル携帯電話機を開発（2018年度電波技術協会賞受賞）。第1級無線従事技術士取得。回路設計から標準規格化まで担当。NTTエレクトロニクス株式会社（NEL）で各種通信機器を開発。特に、無線LAN（Wi-Fi）用IC、TV素材伝送無線装置、及びIoT用無線装置、並びにセキュリティ技術を開発。IoT用無線装置開発では、ガス/水道メータ遠隔検針（家庭、コンビニ）、バス追跡、太陽光発電監視、パレット追跡、ビニールハウス監視、災害対策（河川水位監視、避難者支援）等の無線機器やシステムを開発。その他、特許事務所及びNEL知財部門にて特許出願作業に従事。NELでは最新の光通信技術の特許化を担当中。また、他大学大学院にて、通信機器工学及び情報伝送工学をディスカッション形式で講義中。これらの実務経験を活かして、情報通信技術の様々な疑問について分かり易く解説する。特に、IoT用無線技術は、環境に関する様々なデータ収集方法を紹介するので環境学部学生の今後の研究活動の一助になると考える。また、TV素材伝送無線技術は、現場からの情報がTV放送で手元に届くしくみを知ることができ、情報メディア学部学生がメディアを考える上での一助になると考える。さらに、セキュリティ技術は各情報の正確性、知的財産権の知識はビジネス化を考える上で必須となる。
	10	環境問題と社会	谷口 幸弘	2	企業でのISO14001に基づく、環境マネジメントシステムの構築及び運用の経験や、環境マネジメントシステム認証機関での審査員の経験を活かし、環境マネジメントシステムの実践例などの紹介に活かす。
				19	

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
情報システム学科	1	情報と社会	中村 雅子 李 洪千	2	李は、韓国記者協会編集局次長、民主党大統領選挙対策本部演説秘書として従事した実践的経験を受講生に伝授する
	2	情報編集入門	永盛 祐介	2	永盛はグラフィックデザイン、インタフェースデザイン、WEBデザイン、映像制作の実務経験を有しており、その実務経験により得られた技術に基づき講義を行う。
	3	統計学基礎	山崎 瑞紀	2	研究所での量的・質的調査の立案及び実施に従事した経験を活かし、社会調査に関する知識・技術を伝える
	4	ICTアセスメント概論	市野 順子	2	企業3社での情報システム開発（プロジェクト管理、要件定義、設計、実装、テスト、保守・運用）に従事した経験を活かし、講義の中で、具体的事例や実務の実態を紹介する
	5	ソフトウェア開発技法	市野 順子	2	企業3社での情報システム開発（プロジェクト管理、要件定義、設計、実装、テスト、保守・運用）に従事した経験を活かし、講義の中で、具体的事例や実務の実態を紹介する
	6	情報数学	大谷 紀子	2	電機メーカーの情報系の研究所における基礎研究及び開発に従事した経験を活かし、学習内容の必要性が理解できるように、具体的な製品やサービスへの適用事例を随時紹介する。
	7	プログラミング基礎演習A	大谷 紀子	2	電機メーカーの情報系の研究所における基礎研究及び開発に従事した経験を活かし、学習内容の必要性が理解できるように、具体的な製品やサービスへの適用事例を随時紹介する。
		プログラミング基礎演習A	八木 伸行		メディア系の研究所において研究開発に従事した経験を活かし、学習内容の必要性が理解できるように、企業におけるプログラミング作業での活用方法を随時説明する。
	8	アルゴリズムとプログラミング	大谷 紀子	2	電機メーカーの情報系の研究所における基礎研究及び開発に従事した経験を活かし、学習内容の必要性が理解できるように、具体的な製品やサービスへの適用事例を随時紹介する。
	9	コンピュータネットワーク	藤井 哲郎	2	NTT研究所に研究者として24年間勤務した経験を有しており、通信会社の研究所におけるネットワーク研究開発経験を活かし、コンピュータネットワークの原理から実際の活用までの実践的講義を行っている。
	10	コンピュータグラフィックス	宮地 英生	2	コンピュータグラフィックスを用いたソフトウェアの開発、販売に25年以上従事した経験を活かし、コンピュータグラフィックスの産業界の利用について、実践的な事例などを用いて講義を実施する。
	11	オペレーティングシステム	八木 伸行	2	メディア系企業において研究開発、構築、標準化に従事した経験を活かし、学習内容の必要性が理解できるように、実社会におけるオペレーティングシステムの必要性・重要性について随時説明する。
	12	SD PBL(1)	横井 利彰 市野 順子 岩野 公司 梅原 英一 大谷 紀子 小倉 信彦 関 良明 藤井 哲郎 宮地 英生 八木 伸行	1	（大谷紀子）電機メーカーの情報系の研究所における基礎研究及び開発に従事した経験を活かし、学習内容の必要性が理解できるように、具体的な製品やサービスへの適用事例を随時紹介する。（市野順子）企業3社での情報システム開発（プロジェクト管理、要件定義、設計、実装、テスト、保守・運用）に従事した経験を活かし、講義の中で、具体的事例や実務の実態を紹介する。（八木伸行）ユーザインタフェースの研究開発に従事した経験を活かし、講義の内容に、実務を通して得た知識、社会での適用例を交える。（関 良明）NTTの研究所において、セキュアプラットフォームの研究に従事した経験を活かし、実務経験によって得られた知識を更新しながら、最新の課題を紹介する。（藤井哲郎）NTT研究所において、伝送処理及びネットワークの研究開発に従事した経験を活かし、コンピュータネットワークの原理から実際の活用までを実務経験を活かして説明する。（梅原英一）企業情報システムにおける上流工程の設計に従事した経験を活かし、企業情報システムの上流工程設計の経験を踏まえて設計方法を解説する。（横井利彰）アルゴンス国立研究所でのAdvanced Photon Source部門でのSeptum Magnetの電磁界解析シミュレーションと超並列計算機活用に従事した経験を活かし、コンピュータシミュレーション技術の社会的意義とシミュレーションを支える超並列計算基技術の基本と動向の解説を行う。（宮地英生）CGソフトウェアの開発と販売に従事した経験を活かし、実用的なりアルタイムレンダリングのソフトウェア開発に必要な内容に絞り、机上の話だけでなく実開発で必要となる話を紹介する。
	13	特別講義(環境計量士コース)	久米 一成 石田 康二	2	（久米）静岡県環境衛生科学研究所等で大気汚染防止法、水質汚濁防止法等の環境法令に基づき特定事業場への立ち入り調査や大気汚染・水質汚濁等の汚染物質の機器分析・大気自動測定等の業務に従事するとともに、JICAの環境技術専門家としてタイ、エジプトでのカウンターパートの分析技術指導や静岡県立大学客員教授として大学院生の分析技術指導に携わる。これらの実務経験を活用し、環境法規の成り立ちや分析機器の取り扱い等、現物写真や実際の分析風景等をP.P.資料の中で分かりやすく紹介し、環境計量士の国家試験問題における様々な用語の理解促進に役立てる。（石田）東急建設技術研究所音響研究室にて17年間（内3年半は海外留学）建築音響、騒音振動関連の研究開発に従事、その後現在に至る20年間、小野測器にて、環境騒音振動を含めた騒音振動関連のコンサルティング業務を中心とした実務経験がある。また日本騒音制御工学会など学会活動を通じて騒音振動関連の規格策定にも携わる。建設会社と測定機器メーカーでの研究開発、コンサルティングの実務経験を活かして、環境計量士試験の内容に沿って、図解を中心に解りやすい講義を目指します。
14	環境問題と社会	谷口 幸弘	2	企業でのISO14001に基づく、環境マネジメントシステムの構築及び運用の経験や、環境マネジメントシステム認証機関での審査員の経験を活かし、環境マネジメントシステムの実践例などの紹介に活かす。	
				27	

都市生活学部

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
都市生活学科	1	集客学	川口和英	2	民間シンクタンクで地域開発や都市計画のコンサルティングに関わり、多くのプロジェクトや調査・研究を実施した経験に基づき、実践的な「集客学」をとりまく考え方、企画、戦略、デザイン、応用などについて講義する。
都市生活学科	2	都市政策	明石達生	2	中央省庁と都市自治体の行政官の実務経験に基づき、都市の社会問題を多様な立場から多角的に考える力を育成し行政・政策について教授。
都市生活学科	3	不動産ビジネス	宇都正哲	2	企業にて、都市・地域関連の受託研究、都市インフラビジネスの事業戦略、海外展開におけるパートナーリング、不動産ビジネスの事業戦略などを専門にコンサルティングを実施。その実務経験に基づき、不動産市場の全体を教授するとともに、不動産投資ビジネスについて講義する。
都市生活学科	4	都市開発プロジェクト	沖浦文彦	2	国際ビジネス経験、ODA実施実務経験に基づき実践的な講義、演習の実施。事例紹介とその解説、体験談等に加え、国内、海外で事業を遂行するための素養を考える機会を提供。
都市生活学科	5	都市デザイン	川口英俊	2	国内と国外の建築士事務所勤務において建築デザイン、都市デザイン等の実務業務を30年、1級建築士として26年の業務を行う。自ら1級建築士事務所を主宰している実務家。また、土木業界との連携で国土未来プロジェクトに参加して、インフラストラクチャーと都市デザインの研究と実務に就いている。の実務経験に基づき設計やデザインを行うときの社会と都市デザインの在り方の実践知を教授
都市生活学科	6	インテリアデザインと実務	高柳英明	2	設計事務所代表として、独立住宅・集合住宅等の意匠設計・インテリアデザイン・設計監理業務の他、建築企画・不動産プロデュース業務を行っており、インテリアデザインにかかる現業知識を活かし、都市生活者に必要なコマース店舗・集客空間のインテリアについて講義する。
都市生活学科	7	会計学概論	永江総宜	2	税理士としての経験に基づく会計実務の実例を交え、課題、事例検討等を実施する。
都市生活学科	8	プロジェクトマネジメント	山根格	2	複合都市開発、ホテルなどの企画、設計、プロジェクトマネジメント、コンサルティングの実務経験と海外プロジェクトの経験から得た知見と技能と人脈を活かし、社会的経済的文化的価値を創造していく「クリエイティブ・プロジェクトマネジメント」の思想・プロセス・手法を実践的に教授する。
都市生活学科	9	ブランド戦略	北見幸一	2	広告会社、PR会社、FIFA2002サッカーワールドカップ日本組織委員会での実務経験に基づいた授業解説を実施、複眼的な方法論の獲得により、企画・業務の実践に活かす能力の習得を教授する。
都市生活学科	10	住まいの構法・生産・流通	信太洋行	2	外壁の実施設計の実務経験に基づき詳細図面の読み方を実例を交えて解説する。具体的一例として、施工工程を配慮した作図法を指すということがあげられる。
				20	

人間科学部

学科名	No.	科目名	氏名	単位数	実務経験のある教員による実務経験の教育への活用
児童学科	1	子ども家庭支援の心理学	井戸ゆかり	2	相談機関、保育所などで心理職としての経験を有し、授業内において具体的な事例を紹介することで授業理解を深める。
児童学科	2	幼児理解の理論と方法	井戸ゆかり	2	相談機関、保育所などで心理職としての経験を有し、保育現場での子どもたちのつまずきについて保育者とともに考え、実践した事例などを参考に授業を行う。
児童学科	3	児童文化	小林由利子	2	公立・国立大学附属幼稚園や私立小学校附属学童保育（ボストン／アメリカ）の実務経験に基づき保育と児童文化との関係性、児童文化財の上演のための技術の伝達。
児童学科	4	公衆衛生学	早坂信哉	2	臨床医学経験、公衆衛生行政経験による実例を活かし、自ら自発的に公衆衛生活動ができるように教育。
児童学科	5	子どもの保健と健康	早坂信哉	2	臨床医療経験、保育所園医経験による実際に即した事例の提示などを通して、乳幼児期の基本的な生活習慣の形成とその意義や安全教育・安全管理について教育。
児童学科	6	教育心理学	紺野道子	2	病院や相談機関での心理職としての実務経験を有し、その経験に基づき発達臨床の経験から得た知見を紹介する。
児童学科	7	特別な配慮を必要とする子どもの理解と支援	園田巖	2	重症心身障害児施設、保育所、放課後児童クラブ、子育て支援施設等の実務経験に基づき実践場面を想定しながら授業を行う。
児童学科	8	子どもと環境	松橋圭子	2	保育施設の設定・改修アドバイザーとしての実務経験を有し、その経験に基づき環境づくりに携わる経験から得た知見を取り入れる。
児童学科	9	幼児教育方法論	室井真紀子	2	幼稚園教諭として保育（教育）、クラス運営、カリキュラム作成等を行った経験に基づき教育現場で実際に経験した事例やエピソードを講義の中に取り込む。
児童学科	10	教育学概論	横山草介	2	小学校教諭の実務経験に基づき実践的な内容に触れる
				20	